

介護ロボット導入計画書

法人名 (医療法人聖俊会)
 介護事業所名 (豊川老人保健施設)
 ケアリゾートオリーブ)
 介護保険事業所番号 (2352680017)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	PALRO

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
2023年2月1日	1台	2023年2月1日	

(1) 事業概要及びスケジュール

【事業概要】 PALROを導入することにより、毎日の生活の中「日常会話」「レクリエーション」「健康体操」の充実を図る。利用者の生活機能改善や職員の業務負担軽減に繋げる。
 令和4年2月1日 PALRO導入・職員向け研修
 令和4年2月10日 運用開始
 【導入スケジュール】

(2) 導入する意義・目的

介護サービス中に生じる隙間の時間を明るく楽しい時間で埋めることで、介護予防・生活機能改善・QOL向上を図る。PALROがレクリエーションや体操をしている間に職員が記録業務や個別性の高い支援に取り組むことが出来る。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

- ①利用者の能動的な挨拶や会話を増える。
- ②認知症利用者のBPSDの軽減
- ③職員の業務負担軽減
- ④レクリエーションの充実

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- ①利用者の意欲の向上、活動の向上による生活機能を期待する。
- ②認知症利用者の認知機能低下を防ぎ、不安を軽減し精神的な安定が期待できる。
- ③職員の身体的・心理的な負担を軽減し、業務を効率化する。
- ④レクリエーションの充実により、利用者の満足度が向上する。

(5)適用を受けようとする補助率

1/2

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にする。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

今年度導入予定		既に導入済み	
---------	--	--------	--

見守りセンサーの製品名			
-------------	--	--	--

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	
---------	--	--------	--

ICT機器の製品名			
-----------	--	--	--

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	
---------	--	--------	--

介護記録ソフトの製品名			
-------------	--	--	--

⑤従前の介護職員等の人員体制

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

介護ロボット導入計画書

法人名 (医療法人安形医院)
 介護事業所名 (あがたデイサービス)
 介護保険事業所番号 (2372602660)
 サービス種別 (通所介護)

導入する介護ロボットについて	①介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	介護ふれあいロボット HIMBOT

導入時期 (予定)	導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和5年1月31日	1台	令和4年12月15日	

(1) 事業概要及びスケジュール

利用者のADL低下で、職員の介護負担が増大するため、施設内にコミュニケーションロボットを設置し、利用者がロボットとふれあうことで、ADLの維持、向上を実現する。

(スケジュール) 令和5年1月：現地設置、設定作業、操作説明 令和5年2月：稼働

(2) 導入する意義・目的

- 1) 介護職員の不足で退職者を減らすため、業務負担の軽減が重要になる。
- 2) 利用者がロボットと楽しくふれあうことで、楽しみながら脳を活性化し、ADL維持につなげる。
- 3) 利用者がロボットとふれあう時間は職員が別の業務を行うことができる。

(3) 介護ロボットの導入により達成すべき目標 (導入後3年間)

- 1) 利用者がコミュニケーションロボットとふれあうことで、ADLの維持、向上を目標とする。
 (あいさつ、体操、レクリエーション、脳トレなど)
 →LIFE (科学的介護情報システム) のADL情報の指標で、評価を検証する。
- 2) コミュニケーションロボットが利用者と脳トレやレクリエーションを行うことで、職員の負担軽減につなげる。
 →利用者と職員に満足度のアンケート調査を行う。

(4) 介護ロボットの導入により期待される効果等

- 1) 利用者のADLの維持、向上を介護ロボットが支援する。
- 2) 脳トレ機能で、計算、記憶、反射神経、選択問題などで、脳を活性化する。
- 3) ロボットレクリエーションで、体操や紙芝居などを楽しみ、みんなの参加を促す。
- 4) ロボットは、あいさつ、定刻放送、ニュース、イベントをしゃべってくれる。

(5) 適用を受けようとする補助率

1/2

(6) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

今年度導入予定		既に導入済み	
見守りセンサーの製品名			

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	
ICT機器の製品名			

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	
介護記録ソフトの製品名			

⑤従前の介護職員等の人員体制

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組